

令和6年度 第2回川口市上下水道事業運営審議会会議録

<p>司 会 (上下水道総務課庶務係長)</p>	<p>1 日 時 令和6年10月2日(水) 開始 午後 3時05分 終了 午後 4時05分</p>
	<p>2 場 所 水道庁舎2階 中会議室</p>
	<p>3 議 題 審議事項 (1) 水道料金・下水道使用料のあり方について (2) 「アクアプラン川口21～第3次川口市水道ビジョン～」及び「川口市公共下水道事業経営戦略」の改訂について</p>
	<p>4 出席者 審議会委員</p> <p>会長 石井 晴夫、副会長 若谷 正巳、山口 俊子、 厚井 富子、増田 壽雄、寺田 美雅、田中 宏明、高田 淳、 若松 賢志、松本 倫子、池田 真澄、高柳 早希の各委員 (欠席委員：増井 真也、渡邊 謙、今井 巖の各委員)</p> <p>市側</p> <p>小池上下水道事業管理者、沼口管理部長、田中事業部長、 本多上下水道総務課長、藤田財務課長、芝崎料金課長、 釣上水道維持課長、小島上水道建設課長、池上浄水課長、 高木下水道維持課長、山本下水道建設課長、 秋場ポンプ場管理センター所長</p> <p>尾熊上下水道総務課庶務係長、高橋上下水道総務課経営企画係長、 出牛財務課上水道財務係長、合田財務課下水道財務係長、 熊井上水道建設課計画係長、畠山上下水道総務課庶務系主任、 渡辺上下水道総務課庶務系主任、早川上下水道総務課庶務係主事 野口上下水道総務課経営企画係主査、 大田上下水道総務課経営企画係主事</p>
	<p>5 議事内容【要点筆記】</p> <p>(開始 午後3時5分)</p> <p>開会を告げる。 本日の出席委員は過半数であるので、この会議は成立している。 石井会長に挨拶を願う。</p> <p>(石井会長挨拶)</p>

司 会	<p>事務局を代表して上下水道事業管理者から挨拶を行う。</p> <p>(管理者挨拶)</p>
司 会	<p>これより、会議の進行については、審議会設置条例第6条第1項により会長に議長をお願いします。</p>
議 長	<p>審議会は原則公開となっており、本日の傍聴希望者は5名である。傍聴人にお入りいただきてよろしいか。</p> <p>(異議なしとの声あり)</p> <p>(傍聴人入室、着席)</p>
議 長	<p>それでは、審議事項(1)水道料金・下水道使用料のあり方について、事務局に説明を求める。</p>
上下水道総務課長	<p>(資料に基づき、説明する。)</p>
議 長	<p>口径13mmから25mmが家庭用の小口径であり、現在20mmが一般的である。基本水量が0㎡であっても、10㎡であっても料金は変わらない。東京近郊の都市は特に、単身者の場合、10㎡まで使用しない方が多い。そのため、節水努力が報われないという問題もある。日本水道協会の委員会では、そうした問題点を解消するために、基本水量をなくし、実際に使用した水量の料金を基本料金に加算する、固定料金+変動料金という意見が出ている。こちらについては、下水道使用料に対しても同様である。</p> <p>下水道使用料の基本料金は、排除量によって生じる。節水努力を考慮してほしいという声が市民からあがっているか。</p>
上下水道総務課長	<p>あがっている。</p>
議 長	<p>それでは、質問等があれば、お願いします。</p>
委 員	<p>近隣で下水道管の工事を行っている。新しく管を引くだけでなく、50年経過して古くなった管の取り換えにも費用がかかると思うが、どのようになっているのか。</p>
上下水道総務課長	<p>下水道管、水道管ともに、経年化によって老朽化率が高くなるため、優先順位を見極め、的確、また計画的に管路の更新を行っている。</p>
議 長	<p>管路の耐用年数は40年から50年であるが、50年前と現在の铸铁管は材質が全く異なる。重要な基幹管路は、絶対に守らなければいけない。地震時にダメージを受け、継ぎ手の部分が外れることがあった。現在、管路更新時に使用しているダクタイル铸铁管は殆ど外れない。そのくらい強度が増している。川口市においても地震のときに基幹管路は絶対に守らなければならない。そして、病院や役所、警察、消防などの重要拠点を守らなければならない。そのためにも、国が示している基幹管路の適合率に基づいて耐震化を今後も進めていく必要がある。その管路の更新、また耐震化を進める費用について、水道料金と下水道使用料を含めて考えていかなければならない。</p>

委員	地震など災害が発生した場合を考えるととても心配である。そのためにも管路更新は必要だと思うが、財源がひっ迫している状況では難しいと懸念する。
委員	川口市内において、基本水量、基本料金で収まっている人はどの程度いるのか。
料金課長	令和5年度の決算状況では、全体の約40%が基本料金での請求である。
委員	水道、下水道ともに約40%か。
料金課長	下水道の排除量は、水道の使用水量と同量としているため、水道、下水道ともに約40%である。
議長	基本料金内の使用水量ごとの割合はどの程度か。
上下水道総務課長	最も一般的な口径20mmでは、ひと月の使用水量0m ³ が8%、1m ³ 及び2m ³ が5%、3m ³ が7%、4m ³ が10%、5m ³ から9m ³ がそれぞれ11%、10m ³ が9%であった。
議長	使用水量5m ³ から9m ³ は、全体の50%以上を占めている。
委員	川口市は基本水量が10m ³ だが、近隣市や中核市も川口市同様に10m ³ を採用しているのか。
上下水道総務課長	中核市の料金における資料では、基本水量を設けていない事業者が32、全体の約52%、10m ³ の事業者が16、全体の約26%、その他5m ³ から8m ³ の事業者が14である。
議長	近隣市の中では、基本水量を設けていないところや前回の改定で基本水量を下げたところもある。日本水道協会としても、基本水量は設けず、使用量に応じた変動料金のみとしたほうが実態に即しているとの意見である。 ほかに質問等があれば、願います。
	(質問なし)
議長	それでは、審議事項(2)アクアプラン川口21～第3次川口市水道ビジョン～及び川口市公共下水道事業経営戦略の改訂について、事務局に説明を求める。
上下水道総務課長	(資料に基づき、説明する。)
議長	経営戦略の改訂は令和7年度から令和10年度までの4年間である。改訂時期が迫ってきているが、今後のスケジュールはどのようなものか。
上下水道総務課長	次回の審議会において、計画案を挙げ、委員の皆様にご確認いただく。その後、パブリックコメントを経て、本審議会でも再度審議し、最終的には令和7年2月頃の報告を予定している。

議 長	それでは、質問等があれば、お願いします。
委 員	管路が古くなり、深刻な状況である今、管路の更新や耐震化を進めていかなければならない。そのための費用をどうするか検討していくしかない。
議 長	投資計画に必要となるのは、財政計画である。費用と収入の数字を確認し、整合性が取れているか、差が生じるようであれば、その差をどう埋めていくか、今後、審議会で議論していかなければならない。
委 員	川口市における上下水道の料金の未納や滞納の割合は。
料金課長	今年度、請求に対し、全体の99.8%を回収している。
議 長	ほかに質問等があれば、お願いします。 (質問なし)
議 長	以上で、本日の議題は終了した。 議事が終了したので、会議の進行を事務局に戻す。
司 会 (上下水道総務課庶務係長)	本日の審議の内容は、川口市ホームページ及び市役所市政情報コーナーで公開する。 今後の審議会の日程をお知らせする。 次回の審議会は、10月24日木曜日、午前10時30分から、水道庁舎の中会議室での開催を予定している。 以上で、本日の審議会を終了とする。 (閉会 午後4時5分)